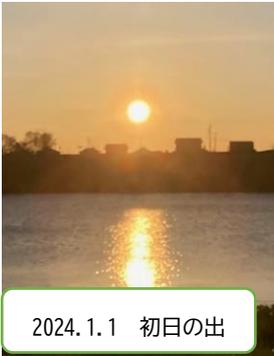


## < 3期のスタート！本年もよろしく申し上げます >

校長 佐藤 幹彦



13日間の冬休みが終わり、いよいよ3期がスタートしました。冬休み前の全校放送で、1月9日には「元気に笑顔で、そして新たな目標をもって登校する姿を期待している」ということを話しました。幸いにも本校では、冬休み中の大きな事件・事故等の報告は1件もありませんでしたので良かったのですが…



天候もよく、暖かくて穏やかな2024年の幕開けを迎えた元旦に、全く予測もしていなかった「能登半島地震」が発生しました。我が家では、お屠蘇気分テレビを見ていた時に、部屋の中に置いてあった家族全員の携帯電話からけたたましく緊急地震速報が鳴り出し



たと思った瞬間「ドドドッ」と大きな揺れが…という感じでした。皆さんはその時どうお過ごしだったでしょうか？

震源地の石川県珠洲市付近では「震度7！」…。このあたりでは「震度4」の地震でしたが、その揺れは、私自身の経験で言うと、1995年1月17日に発生した「阪神・淡路大震災」以来の大きさでした。その後、テレビ放送がすべて地震・津波関連のニュースに切り替わり、しば

らくすると「津波警報」が「大津波警報」へと切り替わり、女性アナウンサーの「今すぐ逃げてください！少しでも高いところへ避難してください！テレビなんか観ている暇はありません！東日本大震災を思い出してください！」という注意喚起の連呼に…。まさに「とんでもない非常事態」が発生したという不安を強く感じ始めたところに、追い打ちをかけるような輪島市の大火事の報道…。そして、その後も2日の羽田空港での日航エアバスの衝突事故や3日の北九州市小倉繁華街での大火事…。「まさか…」と思う報道の連続から始まった新年の幕開けとなってしまいました。



12月のひまわり

こうしたことを受けて、「今、私たちができること、意識すべきこと」として全校生徒に話をしたことは次の2点です。

- ①「今、私たちの周りにある「当たり前」の日常」に感謝し大切にすること(食事(給食)・水・電気・家族・仲間とのつながり…等)」
- ②「どんな環境に置かれても「くじけない心」をもって「前向き」に生きる気持ちを持つこと」



2024 各務原市のテーマ  
一致団結 結果を残す  
⇒次へ結ぶ

3期は、「今年度のまとめ」と4月からの「進学・進級に向けた準備期間」です。能登半島各地の一日でも早い復旧・復興を願いながら、どの学年の生徒も、今置かれている場所で、今年度「最高の姿」を示して次のステップへと結んでいくことを目標にしたいです。